



ある日の水辺にて



夕陽を受けて立つ

世界で一番古い会社は「金剛組」という会社だそうです。聖徳太子が当時、朝鮮半島にあった3国のうち、友好関係にあった「百済」という国から招いた二組の宮大工のうち金剛重光という人が祖先で、その組が大阪の四天王寺を建築しました。もう一組は法隆寺を建てたそうです。以来、紆余曲折しながらも千四百年も続いています。一時は鉄筋コンクリート造の寺社建築に参入して失敗してピンチがあったそうですが、いまでも百人の宮大工を抱え本業である木造社寺建築を生業としています。

100年以上続いている事業所を老舗というそうですが、私も数えてみました。弊社の記録では大正元年創業ですから、恥ずかしながら今年97年目を迎えていることに気がつきました。もう少しで老舗の仲間入りができるのか！というもつかの間の喜びで、実際にはふらふらとやっとのことで存続しているだけでこれといって自慢できるようなものはありません。私自身近頃は、世代を越えて事業を継続していくさまざまな課題を感じています。私共のような小さな工務店にとっては実際にお会いしてお話のお付き合いがとても大切だと考えています。先代がお世話になったお客様との関係を大切にしているだろうか。はなはだ心もとない気がします。

さて、このニュースレターの作成も二月に一回となり、お客様にお送りする回数も減っています。建築のことばかりで乏しい内容ですが、定期的に作成していきますのでどうかご覧いただければ幸いです。

これから夏本番を迎えます。皆様のご健康をお祈り申し上げます。（平成19年7月）

快適リフォーム 展望湯 ダイニングキッチン



ダイニングキッチンの工事前

新装なったDKは照明まで含めイメージを一新

旧浴室の様子(一坪)



完成！立地を最大限生かした「展望湯」



Sキッチンからダイニングスペースを見る



「展望湯」の内装、眼下に広がる景色



浴槽の壁を檜板にするというは内装もおすすめ



外部は木質(杉)壁を渋く色づけしました。



木曽檜を使った浴槽は”ほのかな香り”漂い、木肌は本当に美しいものです。デッキ水栓部分は黒御影石を使っています。ユニットバスではできない贅沢な空間となっています。

快適で美しい設備機器がショールームに展示されています。浴室の場合、ユニットバスは展示されているそのままなのでわかりやすいと思います。でも、ユニットバスではできないことがあります。この「展望湯」の窓のとり方もそうです。檜の浴槽を使用することもそうです。木の好きな方にはたまらない特注のお風呂は手づくりならではの空間でしょう。

発行者 ご連絡先
秋葉建設(株) 秋葉 忠夫
〒289-2163 匝瑳市南神崎52-1
電話0479-72-0814 FAX0479-72-0824
Eメール master@woody-akiba.com
HP URL http://woody-akiba.com/